

昭和31年6月18日第3種郵便物認可
毎月1回1日発行
定価1部15円
印刷所 田辺印刷株式会社
上田市原町 TEL1492

千曲会報

編集兼発行人 小林 尚一
発行所 社団法人 千曲会
長野県上田市常入信州大学繊維学部内
振替 長野 6243・東京 43341
電話 上田 1215(代表) 1218(直通)

蚕卵胚子の形態並びに異常発生に関する実験発生学的研究

片倉 蚕業研究所 河 野 太 郎

養蚕においては、卵の管理が非常に重要な部門を占めている。私は蚕卵管理上の基本となる休眠卵と非休眠卵の胚子における形態的特異性、休眠卵の温度を中心とした環境諸要因に対する特異反応、蚕卵の塩酸刺激感受性を支配する要因、異常環境による畸形蚕の誘発等について解析を加え、実用的見地から考察を行ない、これらを4篇に分けて記載した。

第1篇においては、休眠卵と非休眠卵の胚子形態の比較を行ない、休眠期以外にも、卵の管理上重要な1時期にあたるサジ形経過後から附属突起の発生し始めるまでの胚子期において明瞭な形態的差異のあることを初めて明らかにした。しかしかかる形態差を生じる原因については、非休眠卵においては休眠要因欠除によって、その発生速度が休眠卵の場合より速められる結果であろうと判断した。

第2篇では、休眠卵の保護温度と非休眠化との関係、人工孵化における処理条件と胚子の発生速度ならびに異常な形態発生などの関係について究明した。

低温処理により休眠卵の非休眠化を図る際の適温は、従来5°Cあるいは7.5°Cであるとされていたのに対し、産下後の経過時期によって適温域が変化することを指摘した。しかし、従来考えられていた前記の温度範囲は1日以上経過した卵に対してのみ適用されるものであって、それより前の卵に対しては15°Cが最適であることを実証した。しかしかかる事実を基礎として、休眠卵の管理に際ししばしば問題となる再出卵の出現について考察を加えた。つぎに人工孵化法の施行卵令と発生速度との関係について詳細な研究を行ない、25時令を限度として、以後の施行では発生が緩慢となることを明らかにした。また人工孵化における加熱塩酸を用いた場合は、室温塩酸によるものよりもかえって発生のおくれがみられる。これは高温による発生の一時的抑制によるものであると考えた。さらに、軽度の塩酸処理によってしばしば生じる休眠—非休眠の中間態の卵における胚子発生の異常について研究を進め、中間態卵の胚子においては体の前部と後部において発生上の差のあることを明らかにした。またこのような中間態の卵は、親の卵期における中間温度(20°C)催青の場合にも現われることを見だした。しかし中間態卵におけるかかる異常胚子と、蛹期に脳の摘出または食道下神経節の移植などの処理を行なって得た異常胚子との相似性を考察して、上記の異常胚子も休眠要因の閾値付近の量的作用による

結果であろうと推論した。

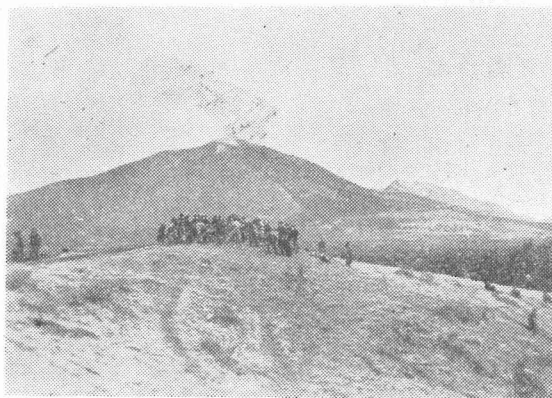
第3篇はで、卵における塩酸刺激感受性の強弱を支配する要因の解析を行なったが、その前提として塩酸刺激に対する感受性を異にする系統の淘汰を行ない、塩酸刺激感受性については明らかに区別される良系統と不良系統とを選出し、それらの2系統を対象として、関係があると予想される器官の交換移植、卵の大きさ、卵殻の性質などを比較検討した結果、各種の卵に特異な塩酸刺激感受性を付与するものは脳—

食道下神経節連合体やアラタ体等によるホルモンの作用でなく、それぞれの卵巣自体に内在する本質的な特異性によるものであり、また卵の大きさや卵殻の性質もこの材料に関する限りあまり影響していないことを確めた。

第4篇においては、卵の異常温度接触による畸形の誘発について、その成因を究明した。まず非遺伝的畸形の出現については、低温高温いずれの場合にも卵期によって誘発されやすい時期とされ難い時期とがあり、卵

の発生経過において畸形の誘発されやすい四つの異なる時期のあることを指摘すると共に、4期それぞれ特異の形態を持つ畸形が誘発されることを明らかにして、かかる時期における卵の取扱いについて注意を喚起した。また以上の畸形は卵の休眠性とは関係なく、特定の发育段階において等しく誘起されることを認めている。加熱塩酸孵化法を施行した場合にもよく畸形の形成がみられるが、この場合も高温がその主要因となり、それに塩酸濃度が加重的に作用する結果であることを実証して、加熱塩酸法における問題点を指摘した。以上における畸形は、数品種の卵において常に同形のものが現われるので、遺伝的のものとは考えられず、また柞蚕における例証から蚕特有の現象でもないと判断した。つぎに以上とは別に卵を28°C程度のあまり高くない温度に保護した場合、体節の重複する特異の畸形を生ずる1品種をみだした。この品種における畸形は、前の場合より、より低温で容易に発現すること等から判断して、遺伝的畸形の誘発と考えた。

以上のように本論文は、蚕における休眠卵胚子と非休眠卵胚子との形態的特異性を明らかにすると共に蚕卵保護管理上の立場から、休眠卵の温度反応について新知見を加え、さらに人工孵化卵の発生速度の面から人工孵化法の比較検討を行ない、また卵の塩酸刺激感受性、異常温度接触による畸形の誘発等卵管理上の諸問題を解明したものである。



浅間高原(4月19日新入学生歓迎レクリエーション)

37年度入学式挙行

37年度の繊維学部入学宣誓式は4月12日午前10時より母校講堂で挙行された。

先ず伊藤信州大学長の式辞に始まり、入学生代表繊維工業化学科小山祐一郎君の宣誓及び宣誓簿への署名が行われた。

小泉学部長より新入生への力強い激励の辞が述べられた、在学生代表富山昌臣君の歓迎の言葉、新入学生代表小山祐一郎君の答辞があった後、新入生緊張のうちに各学科毎の宣誓簿への署名が行われ、11時半無事入学式を終った。

入学生状況氏名は次のとおりである。

学科別	志願者	合格者	入学者
繊維農学科	56	34	30
紡織工学科	189	45	42
繊維工業化学科	266	47	43
繊維機械学科	172	45	44
計	643	171	159

合格者の入学率は93%で前年度より3.0%良くなっている。又入学者のうち長野県出身者は55名で県外出身者は104名となっている。

昭和37年度入学許可者氏名

繊維農学科 (30名)

氏名	出身校
荒井 優実	上田高校
石川 敬治	上田高校
石黒 善夫	長野高校
市川 尚武	岐阜県恵那高校
岩野 汎男	須坂西高校
大山 敏幸	愛知県国府高校
河西 俊人	山梨県農林高校
加藤 元重	愛知県明和高校
川田 正	大阪夕陽丘高校
北沢 清	屋代東高校
栗山 英雄	長崎県佐世保北高校
黒沢 健一	野沢北高校
後藤 英夫	神奈川県湘南高校
小松 勉	上田高校
斎藤 英毅	屋代東高校
佐藤 昌一	香川県香川高校
高橋 忠彦	長野高校
高野 義俊	野沢北高校
中村 梧郎	愛知県昭和高校
南部 颯	徳島県小松島高校
野沢 寛氏	愛知県刈谷高校
堀坂 元昭	兵庫県佐用高校
丸山 哲夫	須坂西高校
南 勲郎	大阪府大阪市立高校
宮原 昭機	屋代東高校
森 幸夫	北海道岩見沢西高校
山本 昭稔	兵庫県加古川東高校
山本 俊雄	飯山北高校
湯沢 隆義	長野高校
横井 武紘	愛知県津島高校

紡織工学科計 (42名)

氏名	出身校
青山 紘一	愛知県愛知高校
秋山 洋次郎	岩村田高校
浅田 修	愛知県桜台高校
足立 圭章	兵庫県神戸高校
伊藤 俊二	愛知県半田高校
石橋 洋二	島根県松江北高校
市川 昭	松本深志高校
宇野 一平	愛知県岡崎高校
江尻 公機	福島県磐城高校
加藤 美治	愛知県豊橋工業高校
風間 武彦	三重県津高校
片岡 武	上田高校
金井 洋	松本県丘高校
木地村 徹	奈良県奈良高校
日下部安秀	岐阜県中津高校
小林 克己	静岡県藤枝東高校
小林 政教	愛知県時習館高校
佐津川 玄	和歌山県向陽高校
鈴木 康之	北海道函館市立東高校
鈴木 理三	愛知県時習館高校
角田 康則	広島県呉三津田高校
関 常勝	須坂西高校
田中 信二	屋代東高校
高田 元弘	広島県福山華陽高校
高田 信行	愛知県東海高校
滝沢 務	上田高校
辻 正章	愛知県東海高校
出羽 秀明	諏訪清陵高校

中牧 佑次	大町高校
中村 光和	長野高校
長瀬 武彦	愛知県名古屋高校
永津 憲正	愛知県稲沢高校
二藤 洋制	愛知県桜台高校
西野 磨日子	愛知県東海高校
早川 佳宏	愛知県横須賀高校
平尾 輝彦	愛知県明和高校
藤原 利幸	松本県ヶ丘高校
堀越 毅	群馬県桐生高校
水野 昭彦	岐阜県恵那高校
水野 強	木曾西高校
八木 木邦治	兵庫県尼崎高校
渡辺 信有	上田高校

繊維工業化学科 (43名)

氏名	出身校
朝井 紀明	長野高校
荒川 登	東京都千歳丘高校
荒川 久雄	大阪府旭高校
安藤 重男	大阪府生野高校
岩木 邦男	大阪府寝屋川高校
岩瀬 彰孝	愛知県岡崎高校
上田 一秋	京都府綾部高校
漆戸 邦夫	飯田高校
岡崎 正樹	栃木県宇都宮高校
岡島 守	愛知県岡崎高校
片貝 良一	東京都広尾高校
加藤 文夫	愛知県刈谷高校
木内 盾己	野沢北高校
北 哲彦	大阪府泉陽高校
北沢 宏造	上田高校
衣川 湘司	埼玉県春日部高校
木村 通宏	鳥取県米子東高校
小宮 良雄	東京都大泉高校
小山 修	茨城県水海道第一高校
小山祐一郎	上田高校
坂口 英輔	上田高校
佐々木 亨	秋田県横手高校
島立 孫一	上田高校
高木 芳男	岐阜県大垣北高校
滝沢 秀敏	長野高校
田口 賢司	長崎県諫早高校
竹内 正信	屋代東高校
橋身 昭昭	北海道砂川北高校
田満 啓司	大分県別府鶴見丘高校
島山 陽一	宮崎県延岡高校
中村 英俊	愛知県岡崎高校
長峰 勝	長野工高校
西尾 純一	兵庫県尼崎高校
西岡 寛	静岡県静岡高校

広瀬 賢	広島県国泰寺高校
藤岡 英昭	広島県府中高校
藤島 融	秋田県秋田高校
細田 衛	上田高校
丸山 信子	新潟県直江津高校
茂木 義博	野沢北高校
柳沢 正巳	須坂西高校
吉田 英敏	三重県松坂高校
若嶋 真吾	兵庫県尼崎高校

繊維機械学科 (44名)

氏名	出身校
青木 勉	松本県ヶ丘高校
赤司 達	愛知県旭丘高校
伊藤 頌二	北海道岩内高校
稲田 利勝	新潟県直江津高校
稲色 武也	石川県七尾高校
茨木 信吾	兵庫県神戸高校
宇鷹 修一	大阪府住吉高校
小河原 一雄	屋代東高校
小沢 志朗	松本県ヶ丘高校
落合 敏朗	東京都文京高校
金山 智夫	上田高校
神坂 一郎	群馬県伊勢崎工業高校
木田 征行	大阪府生野高校
小林 邦夫	上田高校
酒井 秀雄	屋代東高校
酒向 浩	愛知県桜台高校
高嶋 泰行	長崎県長崎東高校
高橋 良也	大阪府阿部野高校
竹内 健	山形県酒田東高校
竹本 惣吉	静岡県浜松西高校
田中 誠一	愛知県国府高校
富岡 太刀夫	上田高校
中島 幹夫	伊那北高校
長野 博道	山口県宇部高校
西保木宏男	松本深志高校
西村誠太郎	兵庫県尼崎工業高校
野呂瀬 進	山梨県甲府第一高校
花輪 省三	山梨県甲府第一高校
平林 壮紀	松本深志高校
福井 秀明	三重県上野高校
藤田 哲郎	福岡県鞍手高校
前田 建夫	香川県高松工業高校
水村 靖司	埼玉県川越高校
宮島 英敏	上田高校
社 好照	岡山県津山高校
柳沢 敏美	屋代東高校
山田 茂雄	大阪府茨木高校
湯沢 慶彦	赤穂高校
湯本 通陽	須坂西高校
吉川 守	愛知県津島高校
立瀬 五男	和歌山県日高高校
渡辺 昭二	島根県益田高校

蒲生・林両名誉教授日本蚕糸学会 名誉会員に推挙される

去る 4 月 8 日東大農学部にて行われた第32回日本蚕糸学会
通常総会において、今回初めて12名の本学会名誉会員が満場
一致で推挙された。その中に千曲会顧問である蒲生・林両先
生の御名前が見られたことは、両先生ご自身のご荣誉である
ばかりでなく、母校並びに千曲会にも一段の光彩を添えるも
ので誠に慶賀にたえない。

因みに本学会定款第10条に「名誉会員はこの学会の会員、
もしくは会員であった者で、蚕糸に関する科学技術の進歩に
貢献し、またはこの学会に功労があった者を、総会の議決を
経て推挙する」とある。

松尾卓見・島崎昭典両博士 日本蚕糸学賞を授与される

日本蚕糸学会第32回通常総会は 4 月 8 日東大農学部で開催
されたが、その席上学会の学賞授与式が挙行された。本年の
受賞者は松尾卓見博士（信州大学教授）(蚕28回卒京大農学部
卒)で受賞論文は桑芽枯病に関する研究で(詳細は33.5.1千曲
会報No77号参照)我が国の『Fusarium 菌の分類に新機軸を
開いた。又島崎昭典博士(農林省蚕糸試験場技官)(糸36回卒)
は受賞主論文製糸工程の統計的管理に関する研究で工程管理
法の理論的基礎を確立した点大きな寄与をなしたものである
母校関係 2 名の名誉ある受賞は誠に喜ばしい次第である。

復興資金募集

母校火災復興資金募集については臨時総会、支会長会議実
行委員会において下記のとおり募金方法が決定いたしました。
先般送付の趣意書、ご協力依頼状ご了承の上、学部改新
途上の母校復興発展のため会員各位の母校愛溢れる熱意を賜
りますようお願い申し上げます。

会 員 各 位

記

募金目標額 5,800,000円
復興資金として母校へ提供する金額 5,000,000円
募金経費 800,000円
拠出額 1口 金千円 1口以上
申込期限 昭和37年6月末 払込期限 昭和37年12月末

母校火災復興資金募集実行委員長 巢 山 喜 吉
社団法人 千 曲 会 理 事 長 荻 原 清 治

復興資金募集と支会の活動

最近寄せられた支会（長）現在の復興募金の見透し等お知らせいたします。

山陽支会：一復興募金については最善をつくし支会の皆様
から応募いただけるようにいたす所存である。どうか全国の
同窓が真に同窓精神を発揮するチャンスだと思う、学部改新
大事業とともにこのたびの事業こそ同窓生の真の愛校精神の
バロメーター測定の好機である。他の大学に負けない実せきを
示されることを期待する。

東京支会：一会員 500 余名の大世帯であるため全会員を把握
するのに一苦労する。そこで東京支会では年次別に幹事をつ
くり卒業年次別の名簿を作るため 4 月 14 日幹事会を開催した。
募金は横割方式で進め募金効果を上げたい。母校の総合
復興計画については東京支会と連絡の上万進めて行くことを
希望する。

山梨支会：一募金は目標額以上達成は今から案じられるが
充分の努力をいたしたい。

北奥支会：一 4 月 21 日盛岡で支会総会を開催した。災害復
興資金寄付についても目標額は消化しようということに決定
した。なお支会長和田敦氏は 4 月 1 日新発足の蚕糸課長に昇任

山形支会：一募金目標額達成については相当困難と思われる
が一生涯懸命会員の協力を求めてやりたい。

栃木支会：一 5 月 13 日栃木支会を開催する、本部から理事
長又は理事都合して出席願ひ復興募金の目標に達成するよう
にいたしたい。

茨城支会：一近く支会総会開く。募金申込書は支会に一括
送付されたい。なお払込期限 37 年 12 月末となっておりが多少
(38 年 6 月末)延期を認めるか。

諏訪支会：一実行委員 6 名の追加申請する。委嘱の取り計
らい願ひする。復興資金の目標消化については大口、小口を
とりまぜ実現を期したい。

安筑支会：一松岡潔支会長が退官して財団法人 富士 見 療
養所事務局長に転任したので残任期間次の方に支会役員をお願い
することになった。支会長（蚕15）浅野 清志、副支会長
（糸16）斎藤 隆、幹事長（蚕37）水沢久成（連絡事務所は松

本市四ツ谷、農林省蚕糸試験場中部支場内）会員名簿も出来
新しい陣容で強化を計りたい。

神奈川支会：一 4 月 12 日支会総会を開催。かつてない多数
会員の参会を得盛会であった。荻原理事長の臨席で会員一同
格別の張り合いを感じた模様、今後支会運営、復興資金達成
の上に効果的であった。今後本支会発展に努力することを申
し合せた。

岐阜支会：一近く支会総会を開催し会員各位に繊維産業の
発展推移を共した思い出の焼失学舎復興については全員応分
の御協力をいただく所存である。なお支会長榎本健治氏は卒
先大口寄付をされた。

愛知支会：一 2 月地区別に支会総会を開催して趣旨を徹底
してあるからこの上は各種会議で決まった事を早く手をうつ
て行くよう全会員に本部から趣意書、依頼書を送付すること
これによって支会から更に会員にご協力がた呼びかける。本
支会よく連絡をとって目標募金額は達成の見込みである。な
お香掛久雄支会長は緊急理事会のさい大口寄付をされ本会役
員も感激しておる。

近畿支会：一 4 月 28 日大阪で近畿支会を、4 月 29 日京都で
京滋支会を開催し本部から北条舒正理事出席盛会であった、
大阪、京都、滋賀、奈良、和歌山と 5 府県に亘る一 2 支会か
けもちの石坂支会長も多忙のうちに役員支会員のご協力を得
て目標は消化出来そうと見込まれる。

鹿児島支会：一母校復興資金募集実行委員を委嘱されたが
不適任と思うが了承した。寄付金 1 口千円以上となっており
が中にはどうしても 500 円口も出ると思うが本部では 1000 円
以下は受付しないか。とにかく目標額に近寄るよう努力する

上小支会：一上小副支会長であった北条五郎右衛門氏、県
庁へ榮転勤になり和田支会長から交渉の結果新任細川俊夫、
上小蚕糸課長に副支会長、支会事務所をお願いすることにな
った。地元大世帯で復興資金募集も並大いではないが大口
寄付も見込まれ全会員に呼びかけて地元支会として目標額を
達成したい。

埼玉支会：一かねて懸案の支会総会が 3 月 14 日熊谷市で開
催、本部から小林尚一理事出席し、参会会員 23 名で盛会であ
った。武田一好支会長が留任、副支会長には井上保雄氏の外
に新に林宇一氏が就任し支会連絡事務所は熊谷市片倉工業石
原製糸所内におき幹事長には古田力氏が決定した。幹部の新
陣容で支会に活が入り有力支会としてその発展が期待される

支 会 だ よ り

高知支会を開く

水ぬるみ、山ようやく霞む南国土佐路へ荻原理事長をお迎えしたのは2月27日のことでした。

翌日から一週間の日程で、製糸工場の技術診断をお願いしました。3月6日午後5時から、八坊さん筭買うを見た…のハリマヤ橋に程近い某所(?)で支会を開きました。総勢8名(欠2名)の盛会(?)でした。忘年会後僅か2箇月でしたが、何分にも酒ごとには熱心なお国柄だけに出席率は80%の高率でした。



荻原理事長から学制改革のあらましと旧本館焼失の模様及び復旧対策について御説明を伺い、新時代に応じて意欲的に脱皮して行く母校の近況に意を強くしました。続いて宴に移り、皿鉢料理(直径1尺5寸余の陶器製皿に、山海の珍味を盛り合わせたもの)を囲み、呑む程に、語る程に上田当時の青春時代にかえり楽しい雰囲気の中に支会を終了しました。終始真摯な温容で全員一同をそれぞれ激励して頂いた荻原理事長に改めて感謝申し上げます。(安岡記)

当日の出席者は次のとおり。

荻原理事長
窪田 盛(支会長、蚕第7回)
田中 亮(高知女子大、蚕第17回)
兄平 文雄(同上、化第6回)
池田 義信(敷島紡績、学紡第5回)
中山 剛(同上、学紡第7回)
湯原 清(高吾繭糸農協、学糸第3回)

安岡 美登(県蚕糸課、糸第28回)
都築南海男(同上、糸第36回)
(注)病欠席小松茂久(蚕第9回)
柄沢昌一(高知敷島紡績、紡第28回)

竹内好武(蚕23) 農学博士祝賀会
昭和37年3月4日 土屋勉

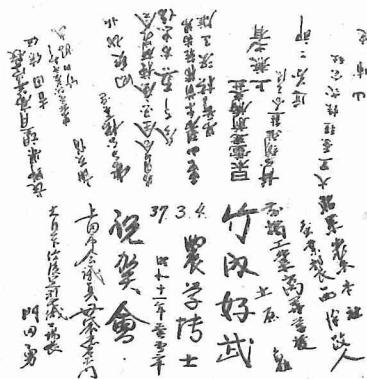
さきに千曲会報により発表された農林省蚕糸試験場技官竹内好武氏の農学博士祝賀会が地本前橋市に昭和11年卒、蚕、糸、紡の地元有志及び信州より同級生2名、東京埼玉より4名、合わせて12名により前橋駅前油屋旅館に於て行われた。

最初に博士論文の説明が竹内氏より説

明があり、故松村氏の研究のあとをつがれて、其後長い間研究されたことを極めて謙遜のうちに説明された。論文3部印刷されたものを配布され説明された。論文は既に発表されておる通り「家蚕の栄養がその就眠性に及ぼす影響に関する研究」であり、昨年九大を通過したものである。

なおこれは先年岸賞を受けたものであり、相当価値を認められている旨横沢氏(亀山製糸、前橋乾繭場長)の付け加えがあった。

卒業後26年目どうやら顔は覚えていても途中で合っても判らない程度になった同級生が博士祝賀会の喜びをわかち合いお互の健康と発展を祝し合った。



参加者次の通り。

養蚕科
母袋忠右衛門 上田市議、奥村忠治
全国蚕種研究会、西沢政人 昭栄製糸
近藤二郎 埼玉繊維、山浦 忠 大里
蚕種、横沢正雄 亀山製糸前橋乾繭、
吉田信吾 長野県望月高校、岡庭武治
勢多蚕販売農協、竹内好武 農博 農
林省蚕糸試験場
製糸科 上兼之有 日本電建前橋支社
紡織科 門田 勇 大日本紡績足利工場
土屋 勉 前橋工業高校

昭和九年組クラス会の記

年賀状で同期生から京浜地区のクラス会開催の希望が寄せられていたので、金沢から新野糸検所長が会議上京を機会に、去る2月10日(土)有楽町のニュートーキョーで昭和9年組(蚕糸21回、紡13回)の会同を持った。これは帝国人絹の化成生産部長として本社結めとなった浅治製襪男君の歓迎兼大河内賞受賞祝賀のの意も含めこの拡大クラス会とした次第であった。急の企画のことと出席者数が危ぶまれたが、いざ電話連絡すると支会の総会とはことかわって大半の賛同参集を得た。集るもの蚕21の荒木喬(全種協参事)、糸21の吉田為雄(自営)、一之瀬茂(日立本社宣伝部課長)、大岩

敵(ゴム会社取締役工場長)、高橋英(須藤製糸横浜出張所長)、岡田重一(旧姓深井、武蔵野市教育委員、地主)松野輝彦(昭栄製糸、取締役工務部長)、横内豊彦(特許庁審判長)新野武雄(石川県生糸検査所長)、岩本賢次(農林省蚕糸局)紡13回の浅治製襪男、吉田義夫(編織会社社長)の計12名の外に、蚕で大槻



四郎(全販連)、糸の金丸功(自営)、紡の鈴木一郎(神奈川在住)の3君は出張その他の所用で不参加であったが、予想外の盛会となった。

28年振りに再会した同志もあり、風雪を経た容貌は当時の面影との連がりをたどるのに戸惑う向も多かったが、話は自然と旧師旧友から東寮、西寮生活、運動会とはずんで、はてはやぶの娘、照葉の夢さまで及んで想出の糸がたぐられ、また事業の商談にも発展して5時から9時半まで続いた。初めての試みとして場所の簡明を期したが、今後も年一度の会同を望む声が多く、次回からはもっとゆっくり欲談ができる会場を選定することとした。

さすがに30年近い歳月の流れは社長、重役、部長、課長、所長などと第一線を担う経営者陣にそれぞれ成長している一方、頭の白さ、薄さの目立つ向きも散見されたが、御殿場線の山北へ帰る吉田義夫君、石川へ夜行の新野君の都合もあって、記念写真と「都の花は見ずもあれ…」の校歌合唱をもって次回を約して散会した。

その際の意見は同窓会は逃げて、クラス会ならば万難を排しても出席したいとの声が多かった。これは戦後の世相下における低調化した千曲会活動においても大いに考参とすべきことと感じた。最近東京支会においても幹事会、総会の不振対策として今回、横割りに卒業年次別に幹事を選定替えて千曲会強化を図ることとなったが、他の支会においても大世帯の場合はこのような方法も一考されてはと思ひ附言する。

なお、糸21回生については、家族写真とこれまでの経歴、人生感、抱負などを集めてのアルバム作成を計画しているので、高松出身の林英雄、税関勤めだった山本直両君の消息を御在じの方は、その

勤務先、住所について筆者（東京都千代田区霞が関、農林省蚕糸局内）まで御一報下されば幸甚である。

（4月14日 岩本記）

神奈川支会総会だより

本部から、からだ二つあってもたりないとおっしゃるご多忙な、そしてお元氣な萩原理事長をお迎えして、新築絶景の横浜集会所で、4月12日千曲会神奈川支会総会を開催しました。当日は木曜日出席通知を受けながらも急務のため、おいでねがえなかった方が、梅沢万次郎氏（横浜生糸取引所常務理事）外15名もあり、残念ではありましたが、それでも、総会開催以来最高の32名の面々が折からの雨の中をつぎつぎと顔をほころばせて、はせさんじてくれ、過ぐる一年間、役員一同、ことあるごとに相寄り一人でも多くの同窓のともがきを築こうと努めてきたかいがあったと喜びあいました。

夕刻6時賀支会長の挨拶から始まり、“従来当会は北仲通りの検査所を中心とした蚕糸関係者によって占められていたが、本日お集まりの方々は県下各地に広範囲のあらゆる職域にわたった方が結集され、古顔に変わって新人が増したことは時代の流れとともに発展する当支会のあらわれであり、母校の学部改新途上にある今日、盛り上がる若き息吹が感じられて、まことに喜ばしい。”と述べ全員拍手喝采、和氣あふれるうちに進められました。

眼を窓外にうつすと、色とりどりに立ち並ぶ外人墓地の十字架のあたり、今を爛漫と咲き誇る桜花はしっかりと霖雨に煙り、そこから气象台、領事館、マリン・タワー、目下造成中のミナトが見える丘公園の山手高台、当会場えと絵のようにつづいており、眼下にはハマの名所、山下公園の岸辺から内外の千船百船の点在する青く果しない海にひろがり、遙かに川崎、鶴見の工業地帯の赤い灯、青い灯が雨に暮れゆく夜空と海面に映えて、あたかも新生神奈川支会の壮途を祝福しているかのように輝いていました。

当日ご出席された方はつぎの通りです。（山本和男氏写す）

写真右より

宮城忠夫（糸18） 湯原喜熙（学蚕3）
井上彰久（紡1） 木内俊一（蚕33）
高村 弘（糸29） 大池 登（糸8）
竹内彦保（蚕32） 塚田和磨（糸25）
近藤成敏（学蚕2） 小泉涯二（糸37）
有賀康人（糸14） 柳沢俊男（学化1）
根岸市郎（紡20） 佐久間政志（糸37）
飯島雅雄（紡22） 萩原理事長（糸12）
萩野喜次（糸17） 滋野文雄（糸19）
長畑 芳（学蚕8） 伊藤 競（糸1）

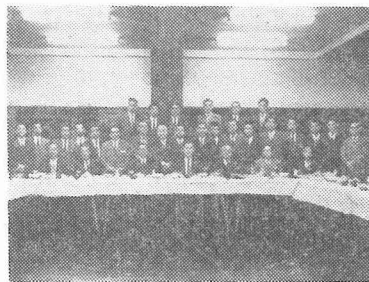
中木 武（糸17） 松崎 滋（糸29）
土屋成令（学紡8） 内藤則雄（学糸7）
飯島 直（糸3） 高橋 英（糸12）
飯島政信（学蚕8） 太田正治（糸12）
永井 達（学蚕9） 田口喜一郎（糸18）
根津 健（糸18）

37年度 役員氏名

支会長 有賀康人

幹事 宮城忠夫 滋野文雄

山本和男 近藤成敏 内藤則雄



ついで宮城、近藤幹事より一般会務並びに会計報告、会員動静についての説明があり、会員を戦前、戦後に分類すると戦後の会員が50%以上にのぼっており、これらの諸君がごぞって支会に入会してくれるよう本年度も会員獲得に努力したいから各位のご協力をおねがいするむねの方針が力強く述べられました。本年度の役員については伊藤本部相談役（糸1）から発言があり上記役員が全員拍手で決定されました。

萩原理事長からは母校火災復興費の問題、学部改新についての問題それぞれに熱のこもった句調で、長時間にわたって立ったままお話しになり、教室で聞きなれたお声や身振りに、みんなも学生にかえたような気分になり、“先生座ってお話し下さい” “いや私はこの方がなれている”などのうちに一同はちびりちびり頂だいしながらたのもしくお伺いしました。

つづいて伊藤大先輩を先頭に自己紹介となるや、産婦人科の先生から、電気やさん、自動車やさんの板についてご紹介昔なつかしい伊那節、おてもやん踊りのご披露もあり、爆笑連続のうちにミナトの夜は次第に更け飲みはいつまでもつぎませんでした。母校並びに千曲支会の大発展を祈念し、一同起立して想いでの校歌を声たからかに歌い後日を約して閉会しました。

最後に神奈川在住の各位には本誌と共に御入会依頼のハガキを同封致しますから、是非渡れなく御入会の御返信を賜りますようお願い申し上げます（塚田記）

東京千曲会卒業回数別連絡幹事会開く

東京千曲会幹事 宮下久吉

東京千曲会の連絡を強化するための卒

業回数別連絡幹事会の第一回会合が去る4月14日東京、蚕糸会館で開催された。当日の打合せ事項は次の三つであった。

- 1, 母校火災復興資金募集について
- 2, 東京千曲会の名簿作成
- 3, 針塚先生追想録の紹介

○当日の出席者名（敬称略）年度は卒業次（大6）野崎清、（大10）鈴木教吾、（大14）宮前邦雄、（大15）小平光雄、（昭8）福地進、（昭10）横内彦彦、（昭11）西沢政人、（昭12）小泉辰雄、（昭17）中島睦男、（昭18）川瀬博史、柳沢新一、（昭24）島崎昭典、（昭25）水出通男（昭26）、石谷雄一、（昭28）土屋拓大、（昭30）寺島利一、（昭32）久保田重良

会長、小林運美

副々、（小平光雄）牧道男（小泉辰雄）武井和夫（）は連絡幹事兼任

幹事、望月政明、斎藤義臣、宮下久吉この他都合で御出席されなかった人（小生あて通知頂いた方々）は次の各氏であった。（大3）矢沢芳登一、（大8）唐木田藤五郎、（大9）山本岩三郎、（大13）青木友弥、（昭2）竹内孝三、（昭4）西田勇三郎、（昭5）早乙女徳蔵、（昭6）野田太郎、（昭9）岩本賢次、（昭11）奥村忠治、（昭13）市原政治、（昭15）加子三郎、（昭20）深町千晴、（昭21）久保田信、（昭23）金沢昭三郎（昭29）田中重徳、（昭31）小川原禎寿第1の母校火災復興資金の募集については、次のような批判があった。

筆者が前号で記したように国立大学の復興に対し同窓会が計画的に寄付金募集の運動をすることは筋が通らないという意見である。今回の募金については既に決定したことであるからやむをえないが、今後このような事を企画するに当っては千曲会のあり方を根本的に検討し、同窓会というものの性格について思想統一の必要があるのではなかろうか。吾々は今秋の総会において千曲会の在り方が再検討されることを期待する。

第二の名簿の作成については、会の席上も検討したが、もう一度本部へ送付して再検討して頂き、そのあとで印刷することに決定した。

第三の追想録については、鈴木教吾氏から御説明を頂いたが、席上三人の方から申し込みをうけた。

なお、会合の席上、千曲会員以外の母校教授各位との交歓を望む声が少なくなかった。これは具体的には、支会の会合に出席をお願いして懇談する等の計画を立てて実行して行きたいと思う。よろしく御協力下さるようお願いする。

母 校 ニ ュ ー ス

学 内 人 事

一般教養英語担当の中村六男助教授および物理学担当の天白一馬助教授は4月1日付信州大学教授に昇任された。

西村善治氏(蚕38)長野高校に栄転

田口研究室に勤務の西村善次氏はこのたび長野高等学校教諭に栄転された。氏は在学部中熱心な研究のかたわら千曲会報編集員として尽力された。

三 浦 乾 太 郎 教 授 退 任

紡織工学科の三浦乾太郎教授には、去る3月31日をもって停年のため、円満退職されることになった。

同教授は機械学の権威であり、昭和25年4月以来今日まで、本学部機械編組学の講座主任として学部のために尽力されそのかたわら信州大学教育学部並びに長野短期大学の講師としても活躍されるなど、斯界内外に対する貢献は極めて大きい。著書に“最新機械法1巻, 2巻”並びに近く丸善から刊行される“織物意匠と構造”などがある。

退職後は広島県可部女子短期大学の教授としてさらに御活躍されることになっている。自宅は上田市材木町157番地で奥さんとお嬢さんの三人暮らしである。

高木春郎助教授学位授与さる

繊維機械学科化学機械学講座担当の高木春郎助教授は、かねて学位論文“絹繊維の品質改善に関する研究”を京都大学工学部に提出のところ、昭和37年1月13日同教授会を通過し、去る3月13日付で工学博士の栄誉を授与された。

石川博助教授工学博士に

紡織工学科繊維物理学講座の石川博助教授(糸32回卒)は、かねて学位論文“絹繊維の微細構造に関する研究”を東京大学工学部に提出のところ、昭和36年12月21日の教授会を通過し、昭和37年3月5日付をもって工学博士の栄誉を授与された。

篠原昭氏新制度による初の工学博士授与

紡織工学科繊維物理学講座の篠原昭氏(学糸2回卒)はかねて学位論文“織物の力学的性質に関する研究”を東京工業大学工学部に提出中であつたが、昭和37年3月21日の教授会を通過し、当学部初の新制度の東京工業大学博士の栄誉を得られた。

新 入 学 生 歓 迎 会

本年度新入学生の歓迎会はレクリエーションを兼ね4月27日学内教職員学生

450名参加、ロマンスカー8台を連ねて小諸懐古園、浅間高原、鬼押出しにハイキングを行った。好天に恵まれ高原でフォークダンス等もあって潑刺清新の気を満喫し午後5時すぎ無事帰学した。

本 会 記 事

支会長会実行委員会総会開催

4月14日午後1時より千曲会館において支会長会実行委員会が開催された、出席者は34名委任状提出21通であった。会議は始めに萩原理事長の3月26日に開かれた常任委員会の経過と議案の概況を挨拶され、副委員長飯田一郎氏が実行委員長代理として挨拶あり、小泉学部長より復興計画は学部の将来計画の中に包含して名実ともに堂々たる学部の復興、飛躍的發展を期する旨挨拶あり各位の絶大なるご協力を所望された。議長選出については萩原理事長指令の提案により和田晋氏が就任、議事が進められた。

議題は母校火災復興資金募集について審議、初め山口定次郎常任委員より常任委員会の経過を説明あり一募金は臨時総会において実行委員会によって実行すべきと決定しており、3月26日の常任委員会において母校提供の5,000,000円を達成するためには支会の協力が必要である。このため支会募金事務費50万円を計上する事になり、これを本日の委員会にかけた。

決定事項

- 1, 募金目標 5,800,000円
- 2, 母校復興資金提供額 5,000,000円
- 3, 募金経費 800,000円
(通信費旅費等30万円, 支会募金事務費50万円)
- 4, 募金は本会に直送の場合も支会の呼びかけによつたものは10%支会へ募金経費を交付する。
- 5, 趣意書等は本部から全会員に発送すること。
- 6, 実行委員は募金効果を上げるため支会長より追加申請のあった場合は委員長より委嘱する。東京支会においては卒業年別の名簿を作成して卒業年別幹事を作り、所謂横割方式で進めて行く等意見があった。

出席者氏名

高木 三治, 宮城 博, 飯田一郎
岩下 嘉光, 水沢 久成, 岩本 賢治
小松 忠幸, 鈴木 正悟, 今井甲子男
戸塚 一, 和田 晋, 母袋忠右エ門

香山 清和, 佐藤 一, 島田 林助
萩原 清治, 町田 博, 中島 遼
小泉 清明, 蒲生 俊興, 山口定次郎
野口新太郎, 小林 尚一, 白井 美明
竹内 善吾, 松尾 卓見, 北条 舒正
母袋 良平, 竹田 寛, 遠藤 恒久
三石 賢, 小笠原真次, 白井 要範
野沢 潤子

上田繊維科学振興会理事会開催

振興会理事会は4月23日午後1時より学部長室において開催し、理事長、副理事長選出については理事互選の結果柳沢延房教授理事長に、又北条舒正助教授が副理事長に選出された。

②顧問推挙については蒲生前振興会理事長が顧問に推挙された。③研究助成委員会の組織員については次回役員会において決定することになった。

有賀文雄(糸1)社長来会

有賀文雄社長は4月13日来会し明春卒業生を採用したいからと学部に応じました。

4月20日開催の片倉ハドン靴下片倉キャロメリヤス、国蚕糸工業等片倉糸三社が合併して片倉ハドンと社名を改め総会、役員会において有賀文雄氏が初代社長に選任された。新会社は各種繊維の繊維の生産、国内販売、輸出をする。

松林元一氏農学博士授与さる

松林元一氏(蚕28, 京大農学部卒, 兵庫農科大学勤務)は、多年研究をつづけられた「バレイショ近縁種の細胞遺伝学的研究」を京都大学農学部提出、2月中旬教授会をパス、めでたく農学博士の学位を授与された。

広瀬幸男氏農学博士授与

上田市第三中学勤務の広瀬幸男氏(蚕31回卒)はかねて学位論文“千曲川水系における水生動物の生態学的研究”を東京農業大学に提出中であつたが、同教授会を通過し3月5日付農学博士の栄誉を授与された。

井本博氏(化4)理学博士授与

東洋曹達工業株式会社勤務の井本博氏はかねて学位論文“選択吸着性樹脂の分析化学への応用”を東京教育大学に提出中であつたが3月5日同教授会を通過し理学博士の栄誉を得ることになった。

信州大学繊維学部第10回卒業生

繊維農学科 (23名)

氏 名	勤 務 先	住 所
青木 貞夫	埼玉紡績 K K 神根工場 (埼玉県川口市根岸3180)	
阿部 勝昭	日本製麻 K K 富山工場 (富山県礪波郡太郎丸)	富山県礪波郡太郎丸日本製麻 K K 男子寮
市村 武門	東京特殊電線 K K 出向東 洋特殊電器(上田市大屋)	小県郡塩田町手塚666
共野 晴次	三共生興 K K 伊丹出張所 (兵庫県伊丹市鈴原町)	兵庫県伊丹市館原町3、 39三共生興 K K 伊丹寮
石川 行之	岩井産業 K K (大阪市東 区北浜4の43)	大阪府豊中市刃根山通 2の175 岩井産業 K K 自主園内
大沢 正夫	埼玉県飯能高校 (飯能市)	埼玉県入間郡日高町高 萩
大井 一郎	東洋繊維 K K 三原工場 (広島県三原市城町602)	三原市城町東洋繊維清 和寮
小林 幸雄	東洋綿花 K K (大阪市東 区高麗橋3の1)	
小林 善晴	倉敷紡績 K K 倉敷工場 (岡山県倉敷市向市場町)	倉敷市向市場町1227倉 敷紡績研修寮
小宮山 源一郎	巴川製紙 K K 新宮工場 (和歌山県新宮市佐野)	新宮市佐野巴川製紙 K K 青雲寮
迫 一雄	長野県蚕業試験場(長野 市岡田町)	長野市岡田蚕業試験場 寮
清水 孝夫	長野県蚕業試験場(長野 市岡田町)	小県郡塩田町下之郷
田村 恒明	吉忠 K K 東京支社(東京 都中央区日本橋本町2の3)	東京都中央区日本橋箱 崎町4の28吉忠 K K 寮
坪内 孝夫	愛知県蚕業試験場岡崎支 場(愛知県岡崎市岩津町)	岡崎市岩津町岡崎支場 寮
中村 清	長野県庁人事課(長野市 県町)	上田市大字国分477
富岡 稔	三共生興 K K 伊丹出張所 (兵庫県伊丹市鈴原町)	兵庫県伊丹市鈴原町3、 39三共生興 K K 伊丹寮
原 重雄	兼松工業 K K 東京支社(東 京都千代田区丸の内1 の6新海上ビル2階)	東京都杉並区高円寺2、 392 兼松 K K 高円寺寮
服藤 功	岐阜県恵那市飯地中学校 (岐阜県恵那市飯地)	
保屋野篤男	池田製作所(東京都目黒 区唐ヶ崎600)	
横山十三男	宮城県蚕業試験場(宮城 県亶理郡亶理町館南70)	宮城県亶理郡亶理町逢 隅館内158の1
宮村 秀夫	神戸生糸検査所(神戸市 生田区播磨町49取引所ビ ル)	
松原 喜光	長野県蚕業試験場(長野 市岡田町)	長野市岡田蚕業試験所 寮
水谷 造之	北海道浦河高校(北海道 浦河郡浦河町東町)	

紡織学科(製糸専攻) (16名)

相田 隆義	レナウン工業 K K	東京都目黒区中目黒2 の722
伊原 芳典	大府紡績 K K	愛知県知多郡大府町大 字柊山
今井袈婆幸	丸紅飯田 K K	大阪市東区本町3の3
小山 清夫	オリンパス光学工業 K K	東京都渋谷区幡ヶ谷2 の43

近藤 邦男	国際工機 K K	東京都千代田区内幸町 2の16新日本ビル
坂本 脩	西日本紡績 K K	福岡県筑紫郡春日町日 の出町3
佐藤 大二	中部日野ジーゼル	名古屋市昭和区東効通 り8
篠原 和彦	科学技術庁振興局	東京都霞ヶ関2の2
堤 勝	東京セロファン紙 K K	東京都足立区新田2の 9の6
成田 司	岡畑産業 K K	和歌山市中市場町
松田 尊行	帝国ビストン K K	岡谷市今井区753
宮崎 尚政	東京セロファン紙 K K	東京都足立区新田2の 9の6
山下 興三	大機ゴム工業 K K	東京都墨田区吾嬬町東 3の9
山田 昭久	大倉商事	東京都中央区銀座2の 2
山田 泰造	西伊繊維 K K	福井市花堂町
若林 久	神栄生糸 K K	福井県大野市神明 219 の15

織紡工学科 (22名)

石川 宏之	東洋高圧 K K	東京都中央区日本橋本 石町4の2
河西 敏勝	富士紡績 K K	東京都中央区日本橋本 町2の1
黒川 貞澄	カロリナ K K	富山県東礪波郡井波町 井波1319の1
小泉 幸道	帝国人造絹糸 K K	東京都千代田区内幸町 2の22(飯野ビル)
小出 明良	平田紡績 K K	三重県四日市市大字天 ヶ須賀32
小松市太郎	大阪金属工業 K K	大阪市北区梅田町47 (新阪神ビル)
紫田 彰三	東洋レーヨン K K	東京都中央区日本橋室 町2の1(三井ビル)
清水 卓雄	兼松羊毛工業 K K	大阪市東区淡路町5、33
高橋 洋旭	帝国産業 K K	大阪市北区中之島2、18
寺沢 豊子	帝国人造絹糸 K K	東京都千代田区内幸町 2の22(飯野ビル)
轟 道彦	倉敷紡績 K K	大阪市東区北久太郎町 2の41
中岡 弘	都築紡績 K K	名古屋市中区八百屋町 1の3
中村 康二	郡是製糸 K K	京都府綾部市宇青野町
中村 忠美	日本フェルト K K	東京都北区豊島8の30
浜田 和也	倉敷レイヨン K K	大阪市北区梅田2第一 生命ビル内
宮崎 利夫	倉毛紡績 K K	大阪市東区南本町4、20
宮下 健	大日本紡績 K K	大阪市東区安土町2、30
柳原 英司	東洋紡績 K K	大阪市北区堂島浜通2 の8
山岡 修一	自営(糸間屋)	岡谷市小井川區6727
山口 雅雄	呉羽紡績 K K	大阪市東区本町2の28
山本 康博		香川県三豊郡山本町河 内下
和田 利政	国家公務員 (通産省繊維局)	

繊維工業化学科 (27名)

相沢 義英	高分子化学工業KK	大阪市北区空町1の25
赤尾 彰一	大日本紡績KK	大阪市東区安土町2の30
安部 吉昭	東洋レーヨンKK	大阪市北区堂島浜町2の8
有賀 毅	大阪金属工業KK	大阪市北区梅田町47
岩月 誠	味の素KK	東京都中央区宝町1の7
太田 雅昭	三井物産KK	東京都港区芝田村町1-2
押田 洋	富士紡績KK	東京都中央区日本橋2の1
小野 裕司	日本レイヨンKK	大阪市東区今橋3の5
甲田 英行	日本油脂KK	東京都千代田区丸の内2の3
小林 忠弘	旭化成工業KK	大阪市北区堂島浜通り1の25
小松 栄一	倉敷レイヨンKK	大阪市北区梅田2
駒津 達夫	日本レイヨンKK	大阪市東区今橋3の5
佐渡本克介	東洋紡KK	大阪市北区堂島浜通り2の8
塩川 莞爾	帝国人絹KK	大阪市西区江戸堀1の53
清水 邦穂	倉敷レイヨンKK	大阪市北区梅田2
清水 昌	三菱レイヨンKK	東京都中央区京橋2の8
白井 利彦	信越化学工業KK	東京都千代田区丸の内1の2
白鳥 峯子	ライオン油脂KK	東京都江戸川区平井3の23
鷺見 保俊	呉羽紡績KK	大阪市東区本町2
田中 信一	大日本インキKK	東京都板橋区蓮根3の24
寺島 英夫	日東電気KK	大阪府茨木市
中野 達彦	倉敷紡績KK	大阪市東区北久太郎町2の41
西川 満	帝国人絹KK	大阪市西区江戸堀1の53
柳沢 明	帝国人絹KK	同上
山本 利彦	呉羽化学KK	東京都中央区日本橋富沢町10の14
若林 忠之	郡是製糸KK	京都府綾部市青野町
戸崎 近雄	日本合成ゴムKK	東京都中央区京橋1の1 (ブリヂストンビル)

会 員 動 静

栗林 茂治	学蚕5 群 馬	農林省蚕糸試験場養蚕部 (前橋市岩新町355) (住) 前橋市下小出町450
西沢 正一	蚕 22 上 小	昭栄製糸 (株) 長野蚕種製造所 (上田市新田町) 電19
平野 長男	紡 24 京 滋	鐘淵紡績 (株) 長浜工場 (長

出版近し 乞 予 約 申 込

針塚長太郎先生—その伝記と追想記

刷上り300頁 追想記100余名執筆 実費頒価1部 1000円
「針塚長太郎先生—その伝記と追想記」の編纂が終り、いま印刷所に廻っております。これは、ひとり一世の師表針塚先生を伝えるのみでなく、母校のほころべき歴史を伝えるものです。濃刺たる息吹が一巻をおおっています。母校が新しい時代を迎えようとするとき、とくに若い同窓生の愛読をおすすめいたします。印刷部数をきめる上にも、即刻予約申し込み下さい。なお同時に送金をお願いします。(千曲会振替口座東京43341番を御利用下さい)

信州大学繊維学部千曲会館内
針塚先生追想録刊行委員会

川岸 弘生	学紡8 石 川	浜市南具服町131)
田中 三夫	農 3 東 京	金沢市弓の町1の1
相野田文雄	糸 31 福 島	(住) 東京都新宿区植木3の915 岡崎行雄方勤従前の通り
井上 貞二	蚕 28 福 島	片倉工業 (株) 平工場工務課長 (福島県平市字三倉8)
和田 敦	蚕 18 北 奥	片倉工業 (株) 福島蚕種製造所 (福島市八島町88)
酒井 嘉美	蚕 17 東 京	岩手県蚕糸課長 (盛岡市内丸)
井沢 喜三	蚕 16 北 信	片倉工業 (株) 原料課長 (東京都中央区京橋3の2片倉ビル)
北条五郎右エ門	蚕18 北信	長野県蚕業試験場長 (長野市岡田町)
河田 栄一	蚕 18 北 信	長野県農地経済部蚕糸課技幹 (長野市県町)
細川 俊雄	蚕 18 上 小	長野県蚕業試験場養蚕部長 (長野市岡田町)
池田 俊郎	蚕 21 更 埴	上小地方事務所蚕糸課長 (上田市前田町)
岩田 正人	蚕 32 飯 高	更級地方事務所蚕糸課長 (篠の井市)
湯沢 重敏	糸 9 近 畿	長野県下水内地方事務所蚕糸課 (飯山市福方町)
柳沢 柳二	紡 17 近 畿	(住) 大阪府堺市浜寺昭和通5丁目58大阪産業浜寺寮
木村 正美	糸 26 兵 庫	兼松羊毛工業株式会社本社
宮入 治男	糸 36 兵 庫	鐘ヶ淵蚕糸KK (神戸市生田区播磨町取引所ビル内)
		神戸生糸取引所 (神戸市生田区播磨町取引所ビル) (住) 神戸市灘区国玉通5丁目15の1

母校火災復興資金拠出申込者氏名 (○印完納)

氏 名	卒 回	申 込 額	支 会 名
浦 生 俊 興	蚕 1	10,000円	上 小
石 倉 新 十 郎	旧 職	3,000	東 京
○小 中 潔	蚕 10	2,000	愛 知
○岡 本 栄 一	糸 15	3,000	"
○宮 下 周 次	学化8	1,000	"
○片 桐 康	学化4	1,000	"
○前 田 三 郎	蚕 27	1,000	"
○安 達 卓 三	学蚕6	2,000	埼 玉
○田 部 久	学糸6	1,000	新 潟
○降 旗 剛 寛	学蚕3	2,000	安 筑
○五 味 徹	農 2	1,000	南佐久
荻 原 万 夫	学糸2	2,000	学糸1
伝 田 静 夫	蚕 21	10,000	上 小
川 上 保 人	化 1	20,000	上 小
小 計		59,000円	
累 計		517,000	

編 集 室 か ら

青葉の季節となりました。学内も4月新入生が見え賑かになって来た。繊維機械学科教室もクリーム色のスマートな新装で一部竣工しました。農理工学の学位の数も増し殊に篠原昭氏は学部として初の新制度学位を獲得されるなど学園の充実は喜びにたえない。

復興資金募集については支会のご協力により逐次活発になり感謝申し上げます。1日も早く復興実現を期したいものです。

編集委員 小林 尚一 香山 清和
大屋 正尚 一の瀬匡典 柳沢 幸男
小山 定 白井 要範